

# Rotary Club of AMA weekly report.



2017~2018年度  
国際ロータリーテーマ

ロータリー  
変化をもたらす

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル  
TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2017~2018年度  
RI会長 イアン・ライズリー  
第2760地区ガバナー 神野 重行  
会長 立松 絹久  
副会長 山田 尊久  
幹事 田邊 正紀

例会日 毎週月曜  
例会場 名鉄グランドホテル

【会報委員会】  
委員長 北澤 英一・山田 広明  
後藤 雅光・木下 章吉  
光岡 朗・山田 幸治

## 2018年4月16日(晴れ) 第3週 第2231回例会

Song ”我等の生業”

### Attendance

会員	78名	欠席	13名	出席率	79.03%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time 山田尊久 会長



皆さん、こんにちは。2月26日の例会より、立松年度をしっかりと支えていかなばとの気持ちで挨拶をしてきました。今日からは会長挨拶という事になりました。今までと同じ気持ちで、取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

先週は日中暖かいものの朝晩は寒く、体調管理が大変でした。皆さんは大丈夫でしたか。4月12日金山の市民会館でチャリティコンサート2018が開かれました。これは名古屋地区のRC合唱団による、東日本大震災で被災した子供たちへ義援金を送るためのチャリティコンサートです。2011年から毎年行っています。コール・スイーツは、森山直太郎のさくらとシューマンの流浪の民を歌いました。最後はRI2760地区大会記念合唱団として高校生にも参加して頂き、ふるさとの四季12曲をメドレーで歌いました。歌い

終わって私も感動いたしました。最後まで観客席で聞いて頂いたあまRCの皆さん有難うございました。ところで、昨日はホテルナゴヤキャッスルで2018-2019年度地区研修・協議会が開かれました。本会議では会場の席がなくなるほどでした。村井総一郎ガバナーエレクトの非常に的確で、分かりやすい言葉で話をされ、その魅力に引き込まれてしまいました。地区活動方針は、『あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！』です。分科会後の本会議が終了したのが4:30でした。会場はまだ人で一杯でした。それほど、最近の出席している人の意識が変わってきた感じがいたします。それは私にとっても、本当にうれしい事です。今日は、『地区研修・協議会で会員の真剣さと、変えていこうという意気込みに出会えた。』という話をさせていただきました。

これからクラブアッセンブリーです。皆さんの発表が楽しみです。それではこれで、私の挨拶といたします。有難うございました。

<b>Today</b>	4月21日(第2232回)
担当	親睦活動委員会
演題	春の家族会
	於：南知多ビーチランド方面 (4/23例会振替)
<b>Next Week</b>	5月7日(第2233回)
担当	板津和博 青少年奉仕委員長
演題	クラブフォーラム
	青少年奉仕委員会

## 副会長挨拶 真木伸一君



今回、副会長に就任いたします真木です。微力ながら残り2ヶ月余り、山田尊久新会長の基、全力で頑張る所存です。会員の皆様のご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。「感謝」

## Secretary Report

田邊正紀 幹事

- 1 次回例会は4月21日（土）春の家族会です。4月23日（月）の例会振替となります。
- 2 立松絹久さんが4月9日付で退会されました。

## ニコボックス

ご投函有り難うございます

山田尊久 会長

地区研修・協議会は熱気に包まれ、素晴らしかった。皆さんの報告が楽しみです。

田邊正紀 幹事

四役構成が変更となりましたが、これまでと変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

神田康史君

何とかセーフ当選でした。原点に帰って、議員活動出直します。有り難うございました。

大竹敬一君

昨日の地区今日参加の皆さん、お疲れ様でした。

青本道春君

神田君、愛西市市会議員当選おめでとうございます。久し振りに兄弟に会いました。上の兄は86歳と驚きました。女兄弟がみんな同じ顔になっていました。特に長女が30年前に亡くなった母親の顔にそっくりで、懐

かしい思いがわきました。遠く離れた兄弟は皆元気で何よりでした。

家田安啓君

本日、地区研修・協議会の報告をさせていただきます。

伊藤英毅君

今日はやっといい天気になりました。これから暑くなるそうです。体調を整えて下さい。

北野庸夫君

神田君、おめでとうございます。

児玉憲之君

コーラス部の皆様、先週の地区合唱祭ではレベルの高い歌を聴かせて頂き有り難うございました。

栗木和夫君

池崎君、ご馳走様。イチゴが変身して大納言になりました。

黒野晃太郎君

チャリティ合唱祭、楽しく歌うことが出来ました。

宮下忠克君

毎回3ヶタゴルフ。ゴールドマークで打つ決断が近づいてきました。

水野 眞君

名古屋邦楽協会主催の第38回名古屋小唄大会、無事終わりました。

竹田竜一郎君

神田君、ご当選おめでとうございます。

山本輝幸君

先週父が亡くなり、今週のピーチランド欠席となります。みません。グループ施設ご利用有り難うございます。

横井久雄君

元会長立松君より皆さんへメッセージを預かっております。「この度一身上の都合により退会することとなりました。十数年にわたり、皆さんに大変お世話になり、有り難うございました。ニコボックスにより感謝の言葉とさせていただきます。本当に有り難うございました」立松君よりニコボックスに多額に寄付して頂きましたことご報告いたします。

合計 79,000円

## 地区研修・協議会発表

### 東海広光君



今年の地区研修・協議会は、出席者全員が二つの分科会に参加するように構成されていました。本会議の後、休憩を挟んで二種類の分科会にて勉強することとなり、私は次年度「会計」と「ロータリー情報委員長」という二つの立場で参加し勉強させていただきました。

第一分科会はクラブ管理部門として『ロータリーを楽しみ会員基盤を強化しましょう』というテーマで開催されました。講師は第2ゾーンロータリーコーディネーター補佐、第2750地区水野功バスターガバナーでした。この方は今から3年前の2015～16年度第2750地区のガバナーを務められました。私が会長を務めさせていただきました年度で、加藤陽一バスターガバナーと同期のガバナーでございます。また、その翌年の2016～17年度あまRCでは、篠田正志会長年度において、地区大会にRI会長代理としてご出席いただいている方でした。2750地区とは毎月会員数でトップ争いをいたしております。2018年1月末現在2750地区（東京）が4805名第、2760地区（愛知）が4900名で現在は95名多いのですが、昨年の2017年1月末は第2750地区が4860名、第2760地区が4849名で11名少なかったのです。2750地区と2760地区は勝ったり負けたりと、日本の34地区の会員数の1番と2番を常に争っている地区です。さて、水野バスターガバナーの講演はロータリーの歴史、ロータリーはどこへ行くのか等六つの項目に分かれていました。中でも2016年4月のRI規定審議会はロータリーの歴史上の転機とされています。すなわちクラブの裁量が大きくなり柔軟性が増しました。柔軟なクラブ運営とクラブの強化が求められています。そんな中でロータリーで変化してはいけないもの、変化して良いもの、変化しなければならないものをクラブで協議して進めていかなくてはなりません。例会の形式の多様化、出席要件の緩和、異なる会員種類の提供、例会スケジュールの変更などクラブの裁量で決めより運営しやすいクラブに作り上げていくという事です。水野バスターガバナーは変化してはいけないものは『Service』と『Friend Ship』と言わ

れました。最後にロータリーの神髄は『参加して、行動して、エンジョイロータリー』である。そしてもう一つ『ロータリーを支えているものは奉仕というより世のため、人のために役立つ心を持つこと』とお話されましたことがとても印象的でした。以上で私の報告とさせていただきます。

### 後藤裕一君



2018年4月15日（日）  
ホテルナゴヤキャッスルにおいて本会議において、神野ガバナー、渡辺昭和RC会長、加藤次期研修リーダーの挨拶、村井ガバナーエレクトの地区方針説明の

後、各分科会に分かれ研修・協議に入りました。

第一分科会は1部・2部の構成となっており、クラブ管理部門の方、並びに3年未満の会員は1部・2部通して、その他の分科会の方は1部・2部に分散してそれぞれの活動に即した方で、第二ゾーンロータリーコーディネーター補佐（ARC）・第2750地区バスターガバナーの水野功氏の“ロータリーを楽しみ、会員基盤を強化しましょう！”をテーマにした講演を拝聴しました。第1部においてはロータリークラブの歴史、ご自身の経験に即したロータリアンとしての行動指針を講演されました。その中で協調されていたのはロータリーの理念であり、職業奉仕理念、“Service Above Self”、“He Profits Most Who Serves Best.”に基づいてロータリーにとって大切なものすなわち変化してよいもの、変化しなければならないもの、変化してはならないものをわきまえて社会のニーズに合った奉仕活動をService 世のため人のために役立つ心をもって、Fellowshipよき仲間とともにやっていくことをとのことでした。そしてRIの今年のテーマ“インスピレーションになろう”をもとにクラブ会員をインスパイアし、モチベートしてクラブ基盤強化につなげようという言葉でしめられました。第2部においては、“クラブを楽しみ、会員基盤を強化しよう！”を推進するためのロータリークラブの抱える課題をすでに各クラブで討議されておられる課題会員の高齢化・会員減少・例会運営、会員間の意識の開き、女性会員に対する根強いアレルギーなどを列挙され、海外のクラブの例会運営事例・女性会員比率などとの比較をもとにそれぞれ

の課題への取り組み方の提案をされました。‘日本のロータリー100周年’記念事業を進めている中でロータリーの公共イメージの強化の声が多く聞かれています。クラブ基盤の強化を目指すために、女性会員・若年会員の増強を推進するためにそれぞれのクラブ・地区の戦略計画を推進してクラブのビジョン作り・情報の活用方法・セミナーを通してアイデア交換・交流を積極的に図り会員基盤の向上につなげる活動を推進してことを強調される意義のある講演でした。新会員として先輩ロータリー会員の熱気ある課題への取り組み意識・活動への思い入れに多大な感銘を受けた1日でした。地区研修・協議会のまとめ、蒲郡でおこなわれる2018～2019年度地区大会の案内、次期地区研修・協議会ホストクラブ（豊川宝飯RC）発表等ののち閉会されました。

#### 青本道春君



##### 社会奉仕

1. 防災の意識を広める活動をする事。
2. 地域で社会奉仕をしている個人・団体と協力すること
3. あまロータリーで活動している蛸（自然保護活動）・花いきいき（環境）植樹等、地域に密着した具体的活動をする事。
4. 活動を発表する事。

#### 家田安啓君



1. 地区研修・協議会の第2部第4分科会（国際奉仕部門）の参加報告です。
2. テーマは「グローバル補助金の活用」でした。ここ数年のグローバル補助金による国際奉仕の実例があ

げられ、カンボジアやミャンマーでの衛生施設の設置などが報告されました。

3. WFFと地区補助金を合わせて、相当額の補助金が交付されるため、各クラブでの国際奉仕を企画検討して欲しい

とのことでした。また、国際奉仕の具体的な目的として、「疾病予防」及び「水と衛生関係」の二つが推奨されていました。

4. 大竹年度では、国際奉仕事業は予定しておりませんが、今後、クラブとして事業を検討する場合は、早めに方針と相手方を決定し、具体的な申請手続きをとることが必要であると強く感じました。

#### 大西晃弘君

私は第7分科会〈職業奉仕委員会〉の研修に参加させていただきました。まず地区の役職者の方から「職業奉仕とは？」といった概念的なお話があり、その後、各クラブで



の活動状況の報告がありました。職業奉仕ということ、来期は地区としてこのような考え方で進めてほしいといった明確な指針となるようなものは提示されませんでした。各クラブが

職業奉仕委員会の活動として行っている職場例会、職場見学などは、「施設や職場を訪ねることが目的ではなく、その企業の姿勢、社会的役割やビジョンを知ることによって、ロータリーの原点である職業奉仕の理念を確認することが目的である」そういった認識をクラブ全体で共有し、実施してほしいというお話がありました。最後に、資料として配られた2760地区村井總一郎ガバナーエレクトが地区の社会奉仕委員長時代に作られた小冊子〈超入門 職業奉仕の入り口〉のまとめの言葉が印象に残りましたので一部をご紹介します。『職業奉仕とは職業サービスを念頭に相手の立場に立った職業活動を行い、相手の喜びを自分の喜びとしながら、職業人としてより高い倫理観の向上に努め、世の中に広めていくこと』、『自分を愛するように他人を愛し、職業を愛し、自分の企業を強靱なたくましいものにしなごながら、愛と倫理を根底に置き、たくましさの中に優しさを持った企業となるべく育てること』。次年度の職業奉仕委員会の活動にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 谷川浩司君



RCは様々な奉仕活動などしているにもかかわらず、それらの事が世間に認知されていないのは、明らかにPR不足であります。例えば東京・札幌オリンピックの聖火台の移動は、ロ

ータリーの寄付によって出来たのに誰も知らない。これは明らかにRIのアピール不足であり、今後はもっとRIの活動をマスコミなどに取り上げてもらい、アピールする必要があるとのことでした。委員会としては、今後各クラブがどのような奉仕活動を考え、イメージ向上につなげて行くかの調査票をガバナーエレクト事務所より5月下旬にお送りするから数枚の写真とともに返信して欲しいとの事。これをホームページにあげ、ロータリーのイメージアップに繋がりたい考えです。

公共イメージ向上委員会の目標は大きく3つです。まずは、マスコミを使うとゆう事、日本にRCができて間もなく100年になろうとしているのに、世間での認知度は10%にも満たない。マスコミを使ってアピールしたい。次にロータリーの友など、RI関連の雑誌などをつかい、イメージの向上を図る。困みに、ロータリーの友を購読するのは、ロータリアンの義務だそうです

最後にMy Rotaryの登録の推進です。昨今は、イメージ向上をアピールするにはホームページなどのネットを使ったツールは欠かすことのできないものになっております。恐らく、ここに一番力を入れていくのだらう思われます。私も昨夜登録して見ましたが？多分My Rotaryに登録すれば、様々なロータリーの情報得ることが出来ると言う事だと思われます。よくわかりませんが、登録数の向上を目指すとゆう事なので会員各位に置きましてはロータリーの友情に免じまして登録だけでもしてあげて下さい。

### 加藤 徹君

国際理解、親善、平和を目的とする制度である。米山奨学生は現在指定校制度となっており、今年度の場合で行くと130名くらいの応募の中から厳選された34名（2年間学生を含めると49名）が選ばれており、学生さんは大変優秀である。選ばれるすべての方は日本語が堪能である。財源

はクラブ及び個人からの寄付によって成り立っており、現在は約7000万円の支援をいただいて運営している。この皆様からの支援額によって、2年後の奨学生の人数が増減するので、ぜひご協力をお願いしたい。少額でも構わないので、すそ野を広げることを大切にしたいと考えている。大学の先生曰く、米山奨学生制度は日本のファンをつくる上で最高のものである。なぜなら月一度のクラブへの参加やカウンセラー制度によって互いに触れ合う機会が多く、つい同じ国同士でかたまってしまうがちな国費留学とは雲泥の差である。本来国がすべきことを実行されているロータリーに感謝とのこと。

### 中島英之君

ロータリーの青少年奉仕部門にはインターアクター、ローターアクター、ライラリアン、青少年交換留学生在がいま



す。これらを各クラブに於いて更に活性化して欲しい。地区としては、それらに属する青少年の交流を更に深めることができるよう手助けをします。また、財団学友、米山学友との交流

も深めていきます。このような学友クロスプロモーションにより、これらの人たちが将来ロータリーに入会していただけるような未来のロータリアンを創ることができるようなアプローチを考えていきます。

彼らは若いけれど、そのパワーは大変強いものがあります。わが国の将来を託す若い層に大きな影響力を持っています。また時として、我々は彼らから学ぶべきところも多々あると思っています。将来の会員増強という視点からだけでなく、クラブや地区の活動に彼らが加わってもらうことで、活気が出たり、周囲から注目されることも多いので、できるだけ連携して活動していきましょう。

### 山田幹夫君

財団への基金寄付は次の5種類及び目標額。1. 年次基金寄付 1人当たり150ドル。  
2. 恒久基金寄付。  
3. 使途指定寄付 1人当たり30ドルを必達目標。（ポリオプラス基金として）



全世界で5000万ドル  
を目標とし、達成時はビル  
ゲイツ財団から倍額の  
1億ドルが寄付される。  
アフガニスタン・ナイジ  
ェリア・パキスタンの3カ  
国において22例発生。2

018年は3月まで3例のみ。撲滅は目前だが、その後の監視が必要。

RCカード（ダイナース）

メジャードナー 地区5名以上

寄付金の使途

地区補助金・グローバル補助金・VTT・財団奨学基金・平和フェローシップ等。

地区補助金の申請は実施年の前年度の3月までに申請し、5月に支給が決定される。申請については財団ハンドブックに従い申請のこと。

#### 山田尊久君

第7分科会の第1部、会員増強部門に出席しました。テーマは健康なクラブ作りの為の会員増強です。澤田文雄次期委員長より挨拶の中で「増強のキーワードは若い人、そして女性会員を増やす事です」そして「クラブ全体でやるんだという意識を持ってほしい」と強調されました。松林信吾アシスタントリーダーは、会員増強の為にはクラブの現状を評価する事、そして次にクラブのビジョンを描く事が大切だと指摘されました。ビジョンを描くとは、クラブの近い将来にこうありたいと望む姿を思い描く事です。最後に石井弘子アシスタントリーダーより入会への魅力を高めるにはという話をされました。入会候補者とはどのような人びとかをよく考え情報を共有することが大切。すると自然にいい候補者が見つかります。そして候補者の興味がわく話をしてあげる事。今、若い人・女性が少ないと言われていますが、若い人・女性にもよいクラブに変えていくことが大事です。退会防止には、逆にクラブで長続きしている人の事を考えると良い。クラブにいい友人がいる。クラブの事業に積極的に参加している。つまりクラブの事業に居場所があること。例会にしっかり出席する人です。退会する人はコミュニケーションが足りない人が多い。入会式は出来る限り印象的なものにしてあげる事。そして早い時期にオリエンテーションをする事。また行事に誘ってあげ

る事が大切だと話されました。特に最後の石井弘子アシスタントリーダーのお話は興味深く聞く事が出来ました。是非、私は地区研修・協議会での話を実践していこうと思えました。

#### 第19回西尾張分区ロータリークラブ美術展

3月20日より25日にて開催されました、「第19回西尾張分区ロータリークラブ美術展」において、山田尊久君が絵画で、古川君が工陶芸と書においてそれぞれ作品を出展されましたのでご紹介をさせていただきます。



写真撮影は水野 眞君